

気になったらこんな検査もいかがですか？

健診時に採血した血液で健診ができます。

腫瘍マーカー検査

(がん健診)

腫瘍マーカーとは…

がんがあるかどうかの目安になる検査の値です。

がんになったときに体内に発生する異常たんぱく(腫瘍マーカー)を血液検査で見つけます。この物質が一定の基準を超えて血液中に存在している場合、がんである可能性が高くなります。

当院では数多くの腫瘍マーカーのうち、以下の項目をセットにしてご提案しています。

セット内容

項目	有効な病気
AFP	肝がん、肺芽腫、睾丸腫瘍など
CEA	大腸がん、胃がん、膵がん、肺がん、乳がんなど
シフラ	肺がんなど
PSA(男性のみ)	前立腺がん、前立腺肥大、前立腺炎
CA125(女性のみ)	卵巣がん、子宮内膜症

甲状腺ホルモン

甲状腺疾患は女性、特に20代から40代の女性に多い疾患です。

種々の多彩な症状より自律神経失調症や更年期障害と類似症状が多く、甲状腺疾患(バセドウ病や橋本病)は見逃されやすい疾患です。

下記のような症状がある方は、是非この機会に検査をお受けください。

甲状腺機能亢進症(主にバセドウ病)の症状

頻脈・動悸、発汗増多、生理不順、流産・早産、手指のふるえ、体重減少、神経過敏など

甲状腺機能低下症(主に橋本病)の症状

生理不順、流産・早産、無気力、易疲労感、寒がり、体温低下、皮膚乾燥、記憶力低下、便秘、物忘れ、体重増加、むくみなど

